

彩の国ロードサポート NEWS



彩の国ロードサポートについての情報は、下記ホームページをご覧ください。

彩の国ロードサポートのページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/A08/BF00/adopt/road.htm>

編集・発行：埼玉県県土整備部道路環境課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

TEL 048-830-5103(直通) FAX 048-830-1942

ロードサポートの認定状況

平成19年4月1日現在で

288団体

14,698人

～ 目次 ～

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. 彩の国ロードサポート制度が変わります | P 1 |
| 2. 「第4回道路愛護の集い」を開催しました | P 2 |
| 3. 彩の国ロードサポート団体の活動報告 | P 2 |
| 4. 清掃美化活動で健康ウォーキングを! | P 4 |

1. 彩の国ロードサポート制度が変わります

1 美化活動（花植えと維持管理）だけの団体もロードサポート団体として登録できるようになりました！

従来は、清掃活動が条件となっておりましたが、歩道にある植樹帯などで花植えなどの活動だけをする場合もロードサポート団体として認定することとしました。

この場合の登録要件は、

団体人数5人以上、管理する植樹帯の面積で合計10㎡以上としました。

ロードサポート団体として認定された場合は、歩道に表示板の設置や、ボランティア保険の加入、用具貸与、花苗や花の種の支給を行います。

2 活動計画書を提出しなくてもよいこととしました！

従来は、毎年度初めに活動計画書を提出していただいていたのですが、手続きの簡素化のため、活動計画書は団体登録時に提出していただくのみとしました。

ただし、活動内容に大きな変更があった場合は、変更後の活動計画書を管轄する県土整備事務所に提出してください。

3 活動報告書の提出時期を変更しました！

活動報告書の提出時期を次のように変更しました。

前年の3月10日から当年の3月9日までの活動について、活動実績を3月10日までに報告

前年の4月1日から当年の3月31日までの活動について、活動実績を4月10日までに報告

活動報告は、保険や用具貸与などのために必要なものですので、ご面倒でも御協力ください。

なお、今回の活動報告は、平成19年4月1日～平成20年3月31日までの実績を平成20年4月10日までに御報告ください。

4 花植えを行っている団体に対して、企業などから花苗の支援を受ける制度を創設しました！

県管理道路の歩道にある植樹帯等で花植えなどを行っているロードサポート団体に対して、企業などから花苗を提供していただく制度を創設しました。

支援の申し出があったときは、事前にロードサポート団体の了解を得たうえで花苗の提供をしていただき、現地には支援者の表示板を設置します。

2. 「第4回道路愛護の集い」を開催しました

2月10日（土）にさいたま市民会館おおみやで、埼玉県、埼玉県道路協会、さいたま市の主催による「第4回道路愛護の集い」が開催されました。

当日は、258名の方に参加をいただき、道路愛護ポスターコンクールの表彰式や有識者を招いての講演などが行われ、その中で彩の国ロードサポート団体の活動報告も行われました。

そこで、今回の彩の国ロードサポートNEWSでは、当日、各団体が発表いただいた内容を御紹介いたします。それぞれが貴重なお話ですので、皆様の今後の活動の参考になるとと思います。

3. 彩の国ロードサポート団体の活動報告

株式会社島村工業

（平成15年4月認定・上尾市）

活動路線：鴻巣桶川さいたま線・上尾久喜線

発表者：野口雅史 櫻井正人

株式会社島村工業総管理部という部署に所属しております野口と申します。

私ども株式会社島村工業は昨年、創立80周年を迎えた、上尾市に本社がある総合建設会社です。事業内容としては道路の舗装工事や橋梁などの土木工事業、ビルやマンションの新築・改築等を行う建築工事、そしてリフォームを中心としたリニューアル事業という、三つの大きな柱で業を営んでおります。

また、当社は経営理念として「創造-自然との調和」、また事業理念として「地域密着型ライフサイクルサポート」というものを掲げております。これは地元企業として地域の皆様と密接な関係を保ち、自然環境も大切にしていこうというコンセプトで、日頃から全社員が取り組んでおります。また、ISOについても品質の9001、環境の14001という認証を取得し、そのシステムの実践によって地球環境の保全に務め、またお客様の満足度、信頼度を高めていくよう日々努力しております。

ボランティア活動としては、平成12年10月にJR北上尾駅前から島村工業の本社がある上尾市緑丘三丁目の区間まで、道路の清掃を行ったのが始まりです。そして、平成15年4月に「彩の国ロードサポート」の認定を頂きました。現在は、毎月第1土曜日、月1回というペースで、社員約10～15名の当番制で活動しております。



活動場所としては、北上尾駅から直線に進み、旧中山道を北本方面に向かって久保西という交差点を右折、そして本社前の道を300mほど行きまして、17号



（会場では安全具を着て清掃の様子を再現！）

バイパスの久保という交差点の手前まで、全長約800mの上下間の清掃活動に取り組んでおります。

実際の活動は支給していただいた黄緑の帽子をかぶり、ゴミ袋とゴミ挟みを一人ひとりが持って、活動しております。

北上尾駅は正直なところ、見た目としてゴミは全く目立ちません。ただ、やはり駅で乗り降りする人が多いせいか、たばこの吸殻が非常に目立ちます。それが北上尾駅周辺のゴミの特徴かと思えます。

本社前の通りでは通りの歩道、両サイドを中心に清掃し、全社一丸となって、この活動に取り組んでおります。

上尾本社の向かい側の通りの歩道部分では、緑地帯が綺麗につながっております。6～8月の暑い時期になると、この緑も生い茂って草ぼうぼうの状態になります。そのようなときは、これを当社社員が綺麗に刈り込む作業も、ボランティア活動の一環として行っております。

旧中山道ではたくさんの木が植えてありますが、特に秋には、非常にたくさんの葉が落ち、その落ち葉を集めるだけでもものすごい量になります。そういった収集も行っております。

活動が終わると本社に帰り、集めたゴミを前にして集合写真を撮って解散となります。この集めたゴミについては、解散後に総務の社員がまずひとまとめにします。そして、そこから燃える物、燃えない物はもちろん、空きかん、ビン、ペットボトルと全て細かく分別し、きちんと処分を行っております。

活動を通じて感じたことをご報告させていただきます。まず、月1回とはいえ、その日にはかなり綺麗に、徹底的にやるのですが、1ヵ月たちますと、非常

にたくさんのゴミが毎回取れることが不思議というか、残念な気持ちになります。

そして、特にたばこの吸殻、または空きかんのポイ捨てが本当に目立ちます。まだまだモラル、喫煙マナー等の低さを感じます。たばこ、空きかん以外のゴミでは、コンビニのおにぎりの袋とか、パンの袋とか、そのような小さい物ばかりです。あとは植え込みなどを刈ってみると、かんがたくさん入っています。「これくらいならいいや」とか「ばれなければいいや」という感じで、ポンポンやっているなということ強く感じました。

そういった問題点を少しでも減少させていくためには、当社社員の意識改革からということで、まず「道路にもっと関心を持とう」、そして「道路を地域全体の大切な財産として大事にしていこう」「道路の汚れは他人事ではなく、自分の庭、もっと大げさに言えば自分の部屋のようなつもりで大切にしていこう」ということを、まず社員に訴えて、そのような気持ちで活動に取り組みせております。

最後に今後についてですが、今後も継続した活動を



熱心に行い、社員全員が道路をもっと愛する気持ちを向上させていきたいと思ひます。

そして、それによって当社の周囲の企業、またはご家庭、そして歩行者の方々も、私達の活動を見て「ああ、確かに綺麗にしなくちゃな」という関心を持っていただけるような、熱意ある活動を展開していきたいと思ひております。

八潮ライオンズクラブ

(平成15年2月認定・八潮市)

活動路線：八潮三郷線

発表者：渋谷修治 伊藤健一

渋谷) 先に、私のほうでライオンズクラブの奉仕活動をご説明させていただきます。

私達ライオンズクラブは世界183カ国にございます。埼玉県には109クラブあって、3000名ちょっとの方が同じようなボランティアとして参加しています。八潮ライオンズクラブでは、年に1回のチャリティゴルフ、チャリティコンサートを行い、その収益金を取っております。

現在、行っているのは小学校6年間の無欠席児童、小学校・中学校9年間の無欠席児童に対する表彰式ということで、青少年育成を行っております。それから少年野球への協賛、バドミントン大会への協賛、花いっぱい運動、クリーンプロジェクトのゴミ拾い参加といった形で行っております。

クリーンプロジェクトと花いっぱいでは、だいたい年間で35万円ぐらいの予算を組み、年に3回の花の植替え、月1回のゴミ拾いを行っております。そのような形で私達はボランティアをやらせていただいております。



伊藤) 八潮ライオンズクラブの伊藤健一です。

私ども八潮ライオンズクラブは、平成8年に渋谷現会長の発案により、八潮市を花いっぱい綺麗な街にしたいという思いから、越谷土木事務所(現越谷県土整備事務所)を訪問し、県道八潮三郷線、首都高速と県道が重なっているところですが、そのちょうど真ん中あたり、160㎡ほどの区間で「花いっぱい」ということで花植えの活動を行っております。

毎月第2土曜日に行っておりますゴミ拾いのエリアは、だいたい1kmぐらいあるのではないかと思います。上り、下りの両方のゴミ拾いをやらせていただいております。ゴミ拾いを行いますと、このエリアでは燃えるゴミがだいたい15~20袋ぐらい、燃えないゴミであるビン、かんがだいたい5~10袋ぐらい、毎回出るような感じです。

実はこの辺は以前、市街化調整区域になっておりまして、建物があまり建っておりません。建物がないということは、当然、人通りも非常に少ないところなのです。

非常に車は多いのですが、ちょうど八潮南の入口から首都高速に上っていくところで、皆さん、花壇の花植え区間部分に車を止め、そこでゴミを捨てていくことが非常に多かったのです。しかも、ここにはつつじばかりが植えてあったので、結局、そのつつじの中に

かんやビン、あげくの果ては粗大ゴミも捨てられているような状況でした。

そこで、とりあえずその場所を開墾して花を植えたらどうか、綺麗な花を植えることによって、ゴミを捨てる人も少なくなってくるのではないかとということで、この部分を開墾し、花を植えさせていただいたわけです。

(活動区域には)トラックが常時、手前のほうまで駐車しているような状態なので、トラックの運転手さんに声を掛け、どけていただいて花植えを行うという状況です。皆さん、トラックの中に寝ていたりしますので、警察に連絡して車をどけていただくといった形です。花を植えるときにはその辺りで苦労した部分もございませう。

花植えが終わると、道路の部分を掃除して終わりとなります。

あとは花植えとゴミ拾いのほかに年1回「家族で参加 通学路クリーン作戦」というものがございませう。

こちらは市内の各小・中学校にご協力いただいて、児童・生徒さん、保護者の方、先生方、各種団体が一体となって、日頃通いなれている自分達の通学路のゴミを拾っていきませう。

八潮市内でも、ゴミ拾い等のボランティア団体がたくさんあるのですが、特に八潮市の商工会には「クリーンプロジェクト委員会」というものがございませう。「八潮市を日本一綺麗な街にしよう」ということで、皆さんが協力してやっているところだぜう。

冬には枯れた雑草等を取って、葉牡丹を植えています。そのように、八潮市を日本一にしようということ

で、日々、皆さんがんばっているところだぜう。当八潮ライオンズクラブでも、継続事業ということで「花いっぱい」のほうは平成8年からだぜうから、約11年やっております。大変に費用も掛かるのですが、それでも八潮の街を綺麗にしていきたいというところだぜう、一生懸命がんばっております。

あと苦労したこととしては、ご覧のように道路なものですから、水についてだぜう。こちらの水やり等がなかなか難しく、会長がわざわざ800リッターの大きなタンクを買って、トラックに積み、川や用水に行って水をくみ上げて、夏場には週に2~3回、多いときは毎日、水をやっている状況だぜう。そのような努力も実って、徐々にゴミも減っていているのかと思っております。これからも八潮市一体となって、皆さんと一緒にゴミ掃除、それから「花いっぱい」等もやっていきたいと思ひませう。



4. 清掃美化活動で健康ウォーキングを！

清掃活動などでちょっとした距離の歩道を歩くときだぜう、その歩き方に気をつけることで健康維持につながりませう。前回のロードサポートニュースでもアドバイスをいただいた財団法人埼玉県健康づくり事業団・健康運動指導士の浅見真一氏から、正しい歩き方について伺ってきませう！

Q: 正しく歩くためのコツを教えてください。

A: 以下に4つのポイントを紹介しませう。ぜひチャレンジしてみてください！

ポイント1 出発前のストレッチ

イスの背もたれ、壁や塀などに手をつき、脚を前後に開きませう。前脚の膝を曲げ、体重をかけ、後ろ脚のふくらはぎを伸ばしませう。(左右20秒くらいづつ)



ポイント3 前脚の着地

着地はかかと、土踏まず、つま先の順にスムーズに行きませう。かかと着地の瞬間は、つま先は上げませう。



ポイント2 良いウォーキングフォーム

背筋を伸ばし、胸をはって歩きませう。視線はやや高く、10m位先を見るつもりで、肘は軽く曲げ、リズムカルに腕を振りませう。



ポイント4 後ろ脚のけり

最後に足の指先にしっかり力を込めて、地面をけり出させませう。



普段当たり前のように歩くときだぜう、ちょっと気をつけて歩いてみてください！